



HOSHIBA

医療法人社団星秀会

ほしば歯科医院ニュースレター

Vol.76

桜が咲いて、散ったのに、なかなか、春の暖かさを連続して感じる事ができない今日この頃です。ここのところ、異常な気候が続き、昔からの季節に関する言い伝えが、次々と覆されていたので、久しぶりに『三寒四温』という春を感じる四文字熟語を実感した気がします。

やはり、春や秋のような、曖昧な季節があつてこそ、日本の美しい四季を感じられるような気がします。

曖昧：はっきりしない様子。あやふやな様子。

日本人の気質をあらわすときに「あいまいな日本人」といった表現がよく使われます。YES,NOをはっきりしない、けれど、物事のすべてが白黒はっきりするとは限らないので、そのゆとりが、優しさや、臨機応変な対処ができるといった評価だったはずです。

しかし、現在の日本の様子といえば、何もかもが、はっきりしないように感じます。

そもそも「あいまいな日本人」といった表現が使われだしたのは、1994年に大江健三郎氏がノーベル文学賞を受賞し、その記念講演を「あいまいな日本の私」の題目で行ったことが始まりです。川端康成氏が同賞受賞の記念講演を「美しい日本の私」という題目で行ったのをもじったのだそうです。

安倍総理の「美しい国日本」をもじって、福田総理が「曖昧な国日本」をつくらうとしているとは思いませんが、もっとはっきりして欲しいものです。

のあった身元不明遺体は約 1000 人。その中で身元確認されたのは 156 人、歯科所見により判明したのは約 11%の 17 人です。

人体組織の中で最も硬い歯は焼死体や白骨遺体でも残されている場合が多く、遺体を確認する有効な手段となっているのです。

また、その分類の多さでも有効性が高いのです。

歯は成人で 28 本、

親知らずを含めると

32 本あります。仮に

「健全歯」「むし歯」

「処置歯」と分類した

たと仮定して、親知らず

を含めず、28 本の

歯を 3 種類に分類すると 3 の 28 乗で約 23 兆もの

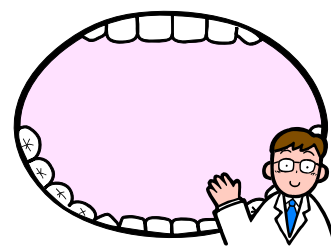
分類ができるのです。ちなみに、指紋の場合は

10 の 10 乗で 100 億ですから、いかに歯の分類が

多いかが解ります。

しかも日本人の歯科罹患率は 90%を越えますから、歯科のカルテが有効になるのです。

しかし、歯科医師は刑事訴訟法などでは、検体の立会いに含まれないので、身元確認作業は任意の協力となっています。私も協力歯科医の一人です。その為、何度か警察官が、診療室に訪ねて来られたことがあります。待合室でお待ちいただいていた患者さんは、「何事だ？」という顔をしていましたが・・・実はこんな事情があつたのです。



共通言語のない薬



歯は口ほどにものを言う？



先日、身元確認に関する歯科医師研修会に参加してきました。

警察庁のまとめによると、平成 18 年中に報告

病院で初診の際には、「服用しているお薬はありますか？」と尋ねられますよね。これは、服用しているお薬の副作用等を考慮して治療にあたるために大切なことなのです。

歯科の場合、たとえば血液を固まりにくくする

お薬（抗凝固剤）を服用している患者さんの場合などは、必ず申し出てほしいのです。口の中は実は血管が密集していて血液が豊富な場所なので、処置の際に出血しやすい場所だからです。

ところがこの薬の名前というのがやっかいなのです。抗凝固剤の成分名は「ワルファリンカリウム」ですが、商品名は「ワルファリン」「ワーファリン」「アレファリン」「ワーリン」と製薬会社によって名前が違います。風邪薬のCMなどでも耳にする「イブプロフェン」という成分名の薬（解熱鎮痛剤）だと商品名が「ブルフェン」「サブフェロン」「ブブロン」「ランデール」だったり全く成分名から遠い名前になったりします。勿論私たち医師は、学習して覚えてきましたし、すぐに調べることもできます。

でも一般には、聞きなれないカタカナがいっぱいで、成分名なのか商品名なのか訳がわからない状態ですよ。今、読みながらも頭が痛くなっている方もいるでしょう？ジェネリック薬品が増えるということはもっと多くなるのです。



そこで厚生労働

省は3年前、ジェネリックの商品名を「成分名＋メーカー名」にするように通知しました。

薬の名前が『共通言語』で統一されれば、患者さんも薬について調べやすくなるし、病気や治療法にも自覚的になれる、よい傾向だと思います。

これから益々高齢化社会になっていくわが国においては、とても大切なことだと思います。今はピンとこないかも知れませんが、私たちの、健康に対する意識は、昔に比べてずいぶんと深まっています。また、カタカナ慣れもしています。

たとえば、食品の成分については、昔は「カルシウムは骨にいい」「ビタミンはお肌にいい」程度だったと思いませんか？それが今では、「唐辛子に含まれるカプサイシンは脂肪の燃焼をたすける」とか「たまねぎに含まれるポリフェノールは血液をさらさらにする」「軟骨成分のグルコサミンを補って若々しく」など普通に会話しています。

これからも沢山のカタカナを覚えながら、共に脳を活性化し、健康に留意して、来るべき高齢化社会に対処してゆきましょう。

ご意見はこちら

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファックス 03-3877-7771（院長直通）

E-mail

info@hoshiba.net

ホームページ

<http://www.hoshiba.net>

ブログ

<http://yaplog.jp/hoshibasikaiin/>



お知らせ

現在、江戸川区歯科医師会で要職を務めさせていただいております。これも地域のため、皆様のためと信じ頑張っていきたいと思っています。ただ、会議が毎日のように入っており、診療時間を短縮する日が増えております。予約がなく、閉院時間近くにご来院される方は、ぜひ一度ご連絡ください。



編集後記

能登の実家からもらって来て挿し木した額紫陽花が、今年もぐんぐんと大きくなっています。今年はいくつ花を咲かせてくれるのか、今から楽しみです。

ほしば歯科医院ニュースレター 第76号

発行日 2008年4月18日発行

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西1-13-7

tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771

e-mail. info@hoshiba.net

<http://www.hoshiba.net>

発行責任者 干場貴司